

# 多文化社会インドと インド英語

*Multicultural India and the Indianess of English*

神田外語大学と東京外国語大学が共同で開発してきた「世界の英語」モジュール  
(通称「英語モジュール」)の開発が再開しました。

前科研のシンガポール英語モジュールに続き、

今科研ではアジア英語の第二弾となる「インド英語モジュール」の開発が進行中です。

これを記念して、本学では、インド英語研究を専門とする2名の研究者を  
デリー大学から招聘し、講演会を行います。

世界で2番目に人口が多いインドは極めて複雑な多文化・多言語国家を構成しています。

本講演では、インドの言語事情を概観したのち、

インド英語の語彙的・音韻的・語法的特徴について論じます。

日付：2018年7月10日(火)

時間：14:50 ~ 16:20 (4限)

会場：クリスタルホール

使用言語 英語

入場  
無料

〈司会〉矢頭典枝 (本学英米語学科教授)

〈コメンテーター〉関屋康 (本学英米語学科教授)

## 【講演者】



**Shobha Satyanath 氏**

デリー大学准教授

専門分野は社会言語学。インドにおける英語とインド諸語の言語接触、特に、インド東部と北東部の都市部における言語状況を主な研究とする。バイリンガリズムやクレオール研究に関する業績もある。



**Richa Sharma 氏**

デリー大学非常勤講師

社会言語学のなかでもインド英語とインド諸語の音韻論を専門とする。デリー大学博士課程に在籍し、2018年、「デリーにおけるヒンディー語/パンジャビ語と英語のバイリンガルの母音の変異」についての研究で博士論文を提出、口頭諮問待ち。

【主催】 科研費 基盤研究 (B) 「多様な英語への対応力を育成するウェブ教材を活用した教育手法の研究」

研究代表者：矢頭典枝 (神田外語大学)

【共催】 科研費 基盤研究 (B) 「アジア諸語の言語類型と社会・文化的多様性を考慮した CEFR 能力記述方法の開発研究」

研究代表者：富盛伸夫 (東京外国語大学)

科研費  
KAKENHI